

花冷え	花冷の銀の落花となりにけり 花冷えの銀の落花となりにけり	2014. 4. 9	花	花もまた春剥落といふことを ゆれ止みし時にも花の散ることよ	2015. 4. 12 2014. 10. 5
花の雨	夜にかけて雷といふ花の雨 花の雨大きな川をぬらしつつ 花の雨大きな川をぬらしけり 花の雨大きな川でありにけり 花の雨大きな川に長き橋 花の雨大きな川はゆつくりと 花の雨大きな川の流れかな 花の雨大きな川の流れゆく	2013. 3. 25 2014. 4. 5 2014. 4. 17 2014. 5. 3 2018. 4. 9 2018. 4. 10		静かなる時にも花の散ることよ 静かなる時間に花の散り初むる 静かなる時あり花の散り初むる 咲き満ちて余韻の如く散り初むる 花満ちて余韻の如く散り初むる 満開の花の余韻と申すべく 満開の花に余韻のある如し ゆれ止みし時にも花のひらひらと	2018. 4. 10 2018. 4. 11 2021. 12. 19
花見	嘘のやうに晴れて花見の水たまり	1999. 3. 7	花びら	花びらや走者一掃せし後の 花散つて花びらの数増やしけり	2013. 3. 18 2014. 4. 17
花の宴	鬼さんをこちらへ招く花吹雪 鬼さんもこちらへござれ花吹雪 鬼さんもこちらへござれ花の宴 沢庵も花見の僧となりにけり 沢庵も花見の僧となりぬべし 沢庵も花見の僧であられしや 沢庵も花見の僧でありにけり 花を見てをるは沢庵和尚かな 沢庵も花見の衆に紛れけり その中に僧の沢庵花の宴 その中に沢庵和尚花の宴 僧の名は沢庵和尚花の宴 僧の名を沢庵と云ふ花の宴	2017. 5. 19 2017. 5. 26 2014. 4. 5 2017. 6. 14 2018. 4. 6 2018. 4. 7 2018. 4. 9		ひりひりと花の痛みや花びらに ひりひりと花びら痛し花の跡 ひりひりと花びらにある花の跡 ひりひりと傷跡のある飛花の旅 ひりひりと傷跡のある飛花落花 しくしくと痛むは花か花びらか しくしくと花びら痛むかもしれぬ 花びらは桜の涙かも知れぬ 花びらは桜の花の涙かも 花びらは桜の花の涙とも 花びらは桜の零す一雫 散る花は桜の零す一雫 ちりぬるは桜の涙かも知れぬ 花びらや桜の花の一雫 花びらは花の涙かしつとりと 花びらは花の涙かひらひらと 花びらは花の涙かひもすがら 花びらは花の涙か終日 花びらは花の涙か花の雨 花びらは花の涙か降り止まず 花びらは花の涙かちりぬるを	2018. 3. 29 2018. 4. 3 2018. 4. 11
桜	欄干の冷たかりける桜かな ガガーリン少佐の地球桜咲く 雨のあと風の荒ぶる桜かな 今日こそは晴れて桜の出番なり 今日こそは晴れて桜の出番かな 今日こそは晴れて桜の出番なれ 全山は今沸騰の桜かな 今はもう住めば都の桜かな 半生の住めば都の桜かな	2014. 4. 5 2015. 3. 7 2016. 3. 21 2016. 4. 17 2016. 5. 11 2016. 5. 15 2018. 3. 31 2014. 4. 29 2018. 4. 9		花びらや余韻の如く散り初むる	2018. 4. 10

落花	身に余る落花を浴びてみたりけり	2014. 3.12
	枯草の上の落花となりにけり	2014. 2.13
	枯草の枯葉の上の落花かな	2018. 4.10
	枯草の上に落花の限りなく	
	枯草に枯葉に花の降ることよ	
	枯草に枯葉に花の降り止まず	
	枯草の上に桜の降り止まず	